

大会名称: 第27回ユニバーシアード競技大会 バasketボール競技(男子)

開催場所: Basket Hall1

試合区分: No. 102 男子 予選ラウンド第1戦 コミッショナー:

期 日: 2013(H25)年7月7日(日)

主審: MILLS Tim (AUS)

開始時間: 13:00

副審: OKHRIMENKO Vladimir (RUS) / ALBLOUSHI Hussain (UAE)

終了時間: 14:30

メキシコ (通算1勝0敗)	○ 83	20 -1st- 16 21 -2nd- 19 22 -3rd- 22 20 -4th- 14 -OT1- -OT2- -OT3-	● 71	日本 (通算0勝1敗)
------------------	---------	---	---------	----------------

「第27回ユニバーシアード競技大会」のBasketボール男子が開幕。男子ユニバーシアード日本代表チームの初戦の相手はメキシコ。立ち上がり、日本は#11野本の3Pシュートで先制すると、その後も#5永吉が内外バランスよく得点を重ね、主導権を奪う。しかし一方のメキシコも#5Calatayudの1on1を中心に応戦し、その後は一進一退の攻防となる。第1ピリオド残り1分52秒、逆転を許した日本は追う展開となり、35-41と6点ビハインドで前半終了。後半に入り、日本は相手の激しいディフェンスにミスが続くと、そこからメキシコに得点され、41-55と苦しい展開。だが日本は粘りを見せ、#6宇都が積極的な攻めで相手のファウルを誘い、じわじわと追い上げる。最後はファウルゲームを仕掛け、反撃に出る日本だったが、追いつくことが出来ず、71-83で敗れた。

第1ピリオド、日本は#11野本の3Pシュートが決まり先制。その後も#5永吉のインサイドプレイ、3Pシュートらで続き、リードを奪う。一方のメキシコは#5Calatayudの1on1を中心に攻め、日本のファウルを誘い、フリースローで加点していく。その後、日本が#15鳩、#9藤高、#11野本とミドルショットを沈めるのに対し、メキシコも#5Calatayud、#4JAIMESのシュートで応戦し、一進一退の攻防に。しかし残り1分52秒、日本のファウルからメキシコにフリースローを与え、初めて逆転を許す。16-20、日本4点ビハインドで終了。

第2ピリオド、開始早々、メキシコは#6GARAYがアウトサイドシュートを沈めて好スタートを切ると、続けて#13BENITEZがオフェンスリバウンドから得点を沈め、リードを伸ばす。一方の日本は、立ち上がりこそミスが続くが、#14橋本の3Pシュートを皮切りに立て直すと、#5永吉がインサイドで奮闘し、得点を量産する。その後も勢いの止まらない日本は、#14橋本が連続3Pシュートを射抜き、残り3分36秒、ついに33-32の逆転に成功する。だが、メキシコも簡単には引かず、#6GARAYと#5Calatayudの3Pシュートで再逆転に成功。35-41、日本6点ビハインドで前半終了。

第3ピリオド、日本は相手の激しいディフェンスにミスが続くと、そこから速い展開でシュートを決められ、開始3分で39-50と大きく離される。たまたずタイムアウトを要求し、立て直しを図るが、メキシコの勢いは止まらず、#5Calatayudが高確率な3Pシュートを沈め、一時14点差にまでリードが広がる。開始4分が経ち、苦しい日本は、#6宇都が果敢にドライブを仕掛けてファウルをもらい、フリースローでじわじわと追い上げる。残り2分を切り、#14橋本のジャンプショットで52-61の点差を1ケタまで戻した日本は、激しいディフェンスから相手のターンオーバーを誘い、速攻につなげる。57-63、日本は6点ビハインドで勝負の最終ピリオドへ。

第4ピリオド、開始早々、日本は#6宇都が積極的に仕掛けてファウルをもらおうと、#9藤高のドライブから得点が決まり、上々の滑り出しを見せる。だが相手の得点を抑えられず、なかなか追いつくことが出来ない。残り5分を切り、追い上げたい日本は、#7藤井の3Pシュートで66-72の6点差まで詰め寄るが、ファウルが重なり、相手にフリースローを与えてしまう。このフリースローをメキシコは確実に沈め、再び点差は広がっていく。残り2分、10点差を追う日本はファウルゲームを仕掛け反撃に出るも、そこまで。最終的に71-83、日本は初戦を勝利で飾れず、黒星スタートとなった。

予選ラウンド第2戦、日本は7月8日(月) 10:00(日本時間15:00)よりルーマニアと対戦する。

担当: 公益財団法人日本Basketボール協会